

RACING TEAM TAKE-O

つしん



2009.9.6 岡山国際サーキット耐久



Race Report

今年早くも7月にはシーズンを終了をしていたVitzシリーズ関西シリーズ。元々はその最終戦となる予定だった9月6日にスーパー耐久シリーズの併催レースとして、シリーズとは別開催の「1時間耐久レース」が行われた。

そしていよいよレースウィークに突入、レース前日の土曜日は30分枠×2本の練習走行で最終調整を行った。

決勝が行われた日曜日、岡山国際サーキット上空は晴天に包まれ気温も上昇、夏の再来を感じさせる一日となった。この日は朝一番に公式予選が行われ、その後1時間強のインターバルですぐに決勝が行われるタイトなスケジュール。しかし各ドライバーはそれにペースを乱すことなく順調に走行を重ねていく。すると予選では助っ人組が活躍。808号車は今久保選手が5番手タイムをマークすると、31号車も木村選手が10番手のタイムをマーク。各マシンとも助っ人ドライバーが予選のベストタイムをマークして見せた。



今回のレースは耐久レースという事もあり、1台のマシンに対し2名までのドライバー登録が可能。今年から2台体制でシリーズに参戦していたチームテイクオーは、808号車に今久保選手、31号車に木村選手を助っ人に迎えこのレースに挑むこととなった。今久保選手は2008年のヴィッツシリーズで5位を獲得。木村選手もクラブマンレースで数度の表彰台獲得経験を持っており、今回のレースには内容と共に結果への期待も高まった。



PERSONAL SPONSORS

218 AUTO SERVICE®



あなたと暮らしたを考える
すまいのスマイル



株式会社 シラキ



PARTNERS



ネット中央大阪 羽曳野



Take-O
〒583-0854
大阪府羽曳野市軽里3-1-14
Tel/Fax : 072-957-8811
<http://www.eonet.ne.jp/~take-o/>

RACING TEAM TAKE-O

つしん



2009.9.6 岡山国際サーキット耐久



Race Report

そして予選終了から程なくした午前10時。晴れ渡る空の下、今シーズン関西地区では最後のヴィッツレースとなる1時間耐久レースが幕を開けた。スタートドライバーは808号車が國島選手、31号車が福田選手。スタート前にはいつもと同様、テイクオーサーキットレディを務めるあゆちゃん&あみちゃんが花を添える。余談ではあるがこの2名、このレース終了後には何とピットロードでのピットワークでお披露目された。すると集まったカメラマン達の興味は一緒に飾ってあった國島選手のレーシングスーツ&ヘルメットそっこのけに若さあふれるあゆ



ちゃん&あみちゃんに集中。スーツ&ヘルメットは「それどかして!」等と言われなかった事がせめてもの救いであった。

それはさておき迎えた決勝スタート。ここではまず國島選手が魅せた。素晴らしいクラッチミートから1コーナーまでに前に行くマシンに並びかける。しかしこの際アウト側のポジションを取った國島選手はこの後押し出される



ような形でコースオフ。すぐに復帰したためポジションは一つ落としただけで済んだものの、オープニングラップで6番手に後退する事に。一方10番手からスタートを切った福田選手はまずまずの動き出しを見せオープニングラップをポジションキープで終えると、各マシンは2周目へと入っていく。

ここからレースは各マシンが数珠繋がりとなりバトルが展開されて行く。

PERSONAL SPONSORS



PARTNERS



Take-O
〒583-0854
大阪府羽曳野市軽里3-1-14
Tel/Fax : 072-957-8811
<http://www.eonet.ne.jp/~take-o/>

RACING TEAM TAKE-O

つしん



2009.9.6 岡山国際サーキット耐久

Race Report

その中国島、福田の両選手はアクシデントに巻き込まれる事無く各自前のマシンに食らいついて行くと、周りよりも若干早目のタイミングでドライバー交代の為ピットイン。まずは

る。それでもこの後前を行くマシンがピットに入り始めると2台は徐々にポジションアップ。レースも終盤に入る



808号車がピットに入るところで助っ人の今久保選手にドライバーチェンジ。程なくして31号車もピットイン、木村選手へとドライバー



頃には808号車が5番手、31号車は8番手にまでポジションを上げていた。するとその後2台は安定したペースで周回を重ね最後までそのポジションをキープ、それぞれこのポジションでチェッカーフラッグを受けることとなった。

これにより808号車としては初めての「入賞」を獲得。國島選手は素晴らしいスタートと前半での走りが自身の初入賞に繋がる形となり、まさに今シーズン一番のレースで今年最後のレースを締めくくる事となった。一方、前半の福田選手の粘りの走り、見事なピット作業での逆転、ピットアウト後のバトル等、見せ場は作りつつも惜しくも入賞を逃した31号車は、助っ人の木村選手がパークフェルメで水をガブ飲み。決してエアコンはつけていなかった事を証明してみせた。



チェンジを行う。するとここで順位が変動。コース上では前を行っていた808号車の前に31号車が滑り込む。しかしその2周後、木村選手のわずかなミスを見逃さなかった今久保選手が再度ポジションを取り返すと、2台はホームストレートでテールトゥノーズの状態に。それでもここは今久保選手がポジションを守り切り、レースは中盤戦に突入していく。

ここから今久保選手は安定して2分5秒台でラップ。一方の木村選手は2分5秒台後半～6秒台のペース。途中数周、わずかながらペースが落ちたのはバトルの影響か?それともつついエアコンのスイッチに手が伸びたためか?木村選手にはサインボードに「↑(ペースアップ!)」サインが出され



これで今シーズン予定されていた一様のレースを終了したチームテイクオー。来シーズンの動向については未だ未定ではあるものの、チーム初の入賞を手にした岡山を後にする事となった。

PERSONAL SPONSORS



PARTNERS



Take-O
〒583-0854
大阪府羽曳野市軽里3-1-14
Tel/Fax : 072-957-8811
<http://www.eonet.ne.jp/~take-o/>

RACING TEAM TAKE-O

つみしん



2009.9.6 岡山国際サーキット耐久

Result

スーパー耐久シリーズ 2009 第6戦岡山スーパー耐久レース 岡山国際サーキット AC
SUPER TAIKYU SERIES Rd.6
OKAYAMA SUPER TAIKYU RACE 9/6 SUN
 岡山スーパー耐久レース
 NCP91 & SCP10 Vitz 1Hour Endurance Festival Vitz 1時間耐久レース
 決勝 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット、TAIYO (AC)
 2009.09.06 発走 14:05 天候：晴れ コース状況：ドライ 岡山国際サーキット 3.703km

39-4時間 : 10:51:09
 50-5時間 : 11:52:15

順位	車番	区分	車名	ドライバー	順位	所要時間	km/h	トータル	ペナルティ	差
1	24	1	NCP91	ホットタヨウ京都&アシストOLVitz 山口コーイチ	29	1h01'06.281	105.446	2'03.453	8	
2	838	1	NCP91	GYRACING&NヤサカシVitz 町田 英夫	29	1h01'22.820	104.972	16.539	2'04.240	22
3	54	1	NCP91	DRIZOMVTH&中田の速Vitz 三谷 敏正	29	1h01'46.699	104.296	40.408	2'04.361	7
4	12	1	NCP91	スッドレスAT-1カOMV&Vitz 鈴木 聡	29	1h02'02.315	103.842	56.634	2'04.847	6
5	808	1	NCP91	タイクオーカ女子会Vitz 藤島 信保	29	1h02'23.041	103.283	1'16.760	2'05.520	23
6	3	1	NCP91	カーメイク・101・ジェームスVitz 飯島 晃	29	1h02'26.059	103.200	1'19.778	2'04.583	9
7	316	1	NCP91	OTR&OVTC&サカアジールVitz 杉本 智紀	29	1h02'27.458	103.161	1'21.177	2'05.155	8
8	31	1	NCP91	タイクオーAUTOFIX&ニギヤVitz 塚田 和伸	29	1h02'35.427	102.943	1'29.146	2'05.839	21
9	328	1	NCP91	ホットタヨウ・THOR&スプリングVitz 渡辺 和雄	29	1h02'55.841	102.286	1'49.560	2'06.136	5
...
16	23	2	SCP10	スズキ・シグナルオンVitz 藤野 浩樹	27	1h01'20.755	97.787	2 Laps	2'11.170	20
17	56	2	SCP10	ゴッパゼイ・OJ&ASA&スプリングVitz イマイ トシアキ	27	1h03'18.358	94.760	2 Laps	2'12.694	12

クラス区分：1=NCP91, 2=SCP10
 完走周回数 20Laps
 参加台数：17台 出走台数：17台
 ベストラップ：24 山口コーイチ/藤野 浩樹 2'03.453 8/29 107.963km/h

審判委員長 大会競技長 計時委員長
 藤田 誠 佐々木 隆 一ノ瀬 誠二

PERSONAL SPONSORS

218 AUTO SERVICE

KUSHIKATSU dining

YOSHIDA GREEN SERVICE

あなたと暮らしたを考えると
すまいるのスマイル

金剛防災

Speed & Quality
大倉金属

株式会社 シラキ

オートフィックス
AUTO-FIX

PARTNERS

株式会社 美原広告
MIHARA 会社

1000 福

PEACE MOTOR-STORE

ネッツ中央大阪 羽曳野

Photo by ANIKAWA

Take-O
 〒583-0854
 大阪府羽曳野市軽里3-1-14
 Tel/Fax : 072-957-8811
<http://www.eonet.ne.jp/~take-o/>

おまけ

今回のメインレース「スーパー耐久」には、吉本大樹が参戦していたものの、走行が最後の3ステイメント目であったためチームテイクオーはその走りを目にする事無く撤収。すると結果は金曜日の良い流れから一転、マシンのペースが上がらず表彰台を逃す4位フィニッシュ。しばらくの間続いてきた連続表彰台獲得記録が途絶えることとなった。これは最近GTやS耐のパドック一部でまことしやかに囁かれているある噂が原因か。。。[YドライバーのところのW氏が来ると結果が良くない]。事実W氏が訪れたGT第2戦、第3戦はマシントラブルが発生、その後訪れなかったセパンからしばらくは優勝&連続表彰台。S耐でも最終ラップの逆転劇で優勝。しかし再度Wが来たGT鈴鹿では最終ラップ手前までトップを走行も、あまりにも不運な展開で3位に転落。この日も朝一番でピットに挨拶に訪れたW氏をみて5ZIGENのメカニックが表情をこわばらせる光景が見られた。ヴィッツレースにも少なからずその影響はあったのか。それは全く関係ない事を祈るWであった。(真剣に関係ない事を祈っています)

